



門田 裕一 議員

高速道路に緊急進入路の設置を

問

非常時に管理車両や緊急自動車等が沿線の一般道路からアクセスが可能な緊急進入路の設置の考えは。

答 総務部長

災害発生時における救急車両の現場到着時間短縮による被害の縮減及び救急車の患者運送時間短縮による救命率の向上など、緊急進入路の必要性は高いものと考えられる。救急出動では、現状においても収容先医療機関が松山インターまたは川内インターから近い場合

には、高速道路を利用して搬送している。また、仮に松山自動車道に非常用の進入路、退出路があれば、有効性はさらに高まるものと思われる。

しかし、本市を縦断している自動車道はトンネルや高架橋が多く、進入路設置には地理的に厳しい条件下にあり、沿線道路の整備も伴うことから、費用対効果を考えると設置は難しいと思われる。

将来、中山スマートインターチェンジが設置されれば、防災や救急医療の上でも重要なアクセス拠点として効果的に利用していきたい。

学校施設における天井等落下防止対策の推進

問

- ①学校の非構造部材の安全点検の実施状況は。
- ②危険箇所の耐震化を早急に図るべきでは。

答 教育委員会事務局長

①建物の構造体の耐震化を進めており、非構造部材の耐震点検及び耐震対策は、ほぼ手つかずの状態となっており、今までに確認作業を実施したの

は、脱落した場合に広範囲にわたり多くの人に危害を及ぼす可能性のある天井のみである。しかし、天井脱落対策に係る技術基準原案の耐震対策が必要とされる天井は該当がなかった。

②今年度中には、点検方法や点検実施時期等について点検方針を定め、施



体育館の天井調査

プロポーザル公開ヒアリング

問

①本庁舎改築工事設計業務プロポーザルに係るヒアリング開催と告知は。

②なぜ、傍聴者が少なかったのか。

③プロポーザル方式の実施に関するガイドラインの作成を。

答 総務部長

①日程は本庁舎改築工事設計業務プロポーザル審査委員会で審議を行い、決定した。開始時間も参加者数、質疑応答及び審査評価に要する時間を勘案し、参加者の予定にも配慮し決定したものである。ヒアリングの告知方法は、市のホームページのみである。

②プロポーザル方式は、設計業務を委託するのにふさわしい業者を選定するもので、発注者側が設定した課題に対しての技術提案であり、コンペ方式のような設計案を提案するものでないため、傍聴者が少なかったのではないかと。今後、多くの方が参加できる方法を検討し、周知方法も工夫したい。

③委託する業務内容や選定方式が多種多様であるため、現在は個別に審査委員会を設置し、要領等を作成して実施している。

答 庁舎建設課長

③現段階で、ガイドラインの策定は考えていない。

その他の質問事項

- ・通学路の安全対策
- ・スポーツを通じた新たな観光交流の取り組み
- ・マンホールトイレの設置を